

R8.9.16 市民ワークショップ<つるおか未来カフェ> (羽黒中)

目 的

- ・ 総合計画後期基本計画の市民へ普及・啓発を図るとともに、市民との協働により推進し、今後のまちづくりや一つひとつの取組に市民の意見を反映するため、市民ワークショップを開催するもの
- ・ 次代を担う若者・学生の意見やアイデア等を聞くために、羽黒中学校の生徒を対象に実施

開催概要

日 時：令和8年9月16日（水）13時25分から15時15分

場 所：鶴岡市立 羽黒中学校 参加者：同校 3年生 67名

内 容：9グループに分かれ、総合計画後期基本計画に関連したテーマについて、「まちづくりのために何が必要か」という視点から意見を出し合い、グループ討論・グループ発表を行う

その他：ファシリテーターとして、東北公益文科大学「地域共創コーディネーター養成講座」を修了した市職員等を配置



市民ワークショップ<つるおか未来カフェ>(まとめ①)

意見概要

タイトル：「若者の地元回帰・定着の促進」

- ・ 子供がのびのび遊べる遊具のある公園や、羽黒図書館のような集中できる静かな勉強場所を確保する。
- ・ 地域での生活に必要なコンビニや商店を維持する一方で、シャッター街をリノベーションしたショッピングモールを整備する。
- ・ 18歳までの医療費無料化の継続や、高額な出産費用に対する手厚い経済的支援をすることが重要。
- ・ 飛行機や地元のバス・電車の交通網を充実させ、鶴岡公園等での魅力的なイベントや交流の場を創出する。

タイトル：「誰もが安心して暮らし続けられる体制整備」

- ・ 定期的な道路の白線の塗り直しや、防犯灯の設置、小型除雪機の導入支援などで、高齢者や子供が安全に移動できるようにする。
- ・ 空き家を売却し、シャッター街を若者の遊び場や飲食店として活用し、交流人口を創出する。
- ・ ゴミのポイ捨て対策として、電子マネーのポイント付与ができるゴミ箱の設置を増やす。
- ・ 公共施設や多様性に配慮した施設を増やし、運動場や遊び場を確保し、年齢に関係なく楽しめるイベントを実施する。

タイトル：「共生社会の推進～外国人との共生、性別、年齢、障がい等に関わらず生きていくには～」

- ・ SNSを活用した街の魅力発信や、店舗や保育園の充実により、若者や子育て世帯が暮らしやすい環境を整備する。
- ・ 多言語の案内看板や英語表記を増やし、外国人の母国の料理店や特色ある商品を売る店を創出する。
- ・ 交通網の拡充や、エレベーターや音響信号機の設置により、高齢者や障がい者が移動しやすいまちづくりが必要。
- ・ 屋内遊び場や安全な公園を増やす。暑さ対策の涼しい場所づくりの他、環境維持のためにゴミ拾いなどの活動を行う。

タイトル：「農業・林業・漁業で働く人への支援」

- ・ 中高生主役の農業・林業・水産業に関わる映画の舞台化、Vtuberの活用、特産品のブランド化などでPRを強化する。
- ・ 地元産直、共同農園、屋台村や市場などの地産地消の施設を整備する。
- ・ 魚のつかみ取り体験や木登り選手権、田植え選手権などのイベントを開催する。
- ・ 経営者のための支援金支給や機械の貸出しを行い、次世代を育てる体験学習や講習会を拡充する。

タイトル：「地元の企業やそこで働く人への支援」

- ・ 従業員の労働に見合う適切な収入や、仕事のレベルに合った給与の確保が重要。
- ・ 中高生が株の勉強や起業・創業を学ぶ経済部（部活動）や、キッザニアのような職場体験の場を整備。
- ・ 鶴岡独自の企業誘致や、地域の魅力を発信するキャラクター・LINEスタンプの開発によりPRを行う。
- ・ 行政が交通網の拡充を行いながら、従業員への通勤サポートの拡充などを行う企業への補助金を導入する。

市民ワークショップ<つるおか未来カフェ>(まとめ②)

意見概要

タイトル：「中心市街地の活性化」

- ・空き家の解消により、気軽に散歩できるコースや自由にスポーツができる広場などの空間を整備する。
- ・駐車場や公共交通機関の整備など、県外や外国からも人が来やすくなる交通インフラが必要。
- ・中心市街地に関わる人を増やすため、企業や学生アルバイトの求人を増やし、高い給料を得られる十分な収入の確保が必要。
- ・公園やカフェ、多様な体験施設の整備を支援し、人が滞留する場所が点在する地域を作る。

タイトル：「戦略的な観光の展開」

- ・公式WEBサイトやタレントによるテレビ紹介、キャラクターや歴史を活用した宣伝を実施する。
- ・蚕の糸を使ったミサンガや赤川花火限定グッズなど、観光客が行くことで購入できる特産品の販売場所を創出する。
- ・廃校での宿泊や給食体験、特産品を使ったレストランなどの「食」にスポットをあてた観光施設を整備。
- ・アンケートなどの実施により、観光客からの感想や意見を確保する体制を整備する。

タイトル：「行政手続きのデジタル化と業務効率化」

- ・AIやロボットの導入により、行政の人手不足を補い業務効率化を促進する。
- ・ハンコの代わりにマイナンバーカードを活用する業務を増やし、マイナンバーカードでバスや電車にも乗れる仕組みを導入する。
- ・役所に行かずに、スマホで予約や手続きをすることを標準とし、それができない人のためだけの窓口へと切り替える。
- ・デジタルに不慣れな高齢者等に対し、ビデオ通話で段取りを教えるサポート体制を導入する。

タイトル：「総合的なデジタル化戦略の推進」

- ・教科書のデジタル化、育児情報の配信や授業参観の遠隔化など、教育面でのデジタル活用導入を促進する。
- ・VRでの観光体験やAIによる外国語解説、美術館・博物館での360度カメラなど、体験型デジタル活用の導入を促進する。
- ・選挙の電子投票、災害シミュレーション、バスの自動運転・予約制度、農業のスマート化など、先行できるところから導入する。
- ・デジタルに不慣れな高齢者に対する丁寧なサポートや、過度なデジタル化への配慮が必要。